

ことう地域 チームケア研究会たより



第 5 号
平成25年12月1日



去る11月12日に、第5回目の研究会が開催されました。

日時：11月12日（火）18:30～20:30

会場：彦根市立病院医療情報センター多目的室

参加者：75名（医療関係者：33名、福祉関係者：15名、行政等：27名）

今回は、26年1月からオープンする、地域医療支援センター（正式名称：彦根市保健・医療複合施設）の役割等について、彦根市福祉保健部 西山副参事より紹介いただき、その後、自宅でご家族を看取られた体験を、看取りの会の方がお話しくださいました。話題提供の内容などを含め、参加者が10のグループに分かれ、意見交換を行いました。

話題提供その1 =在宅医療・福祉の拠点整備と今後の活用について= 彦根市福祉保健部 副参事 西山 武さん

<h3>地域医療支援センターの基本構型</h3> <ul style="list-style-type: none"> ■ 休日急病診療所の移設(1市3町) ■ 在宅医療を推進するための拠点施設(1市4町) ■ 医師会等関係団体の事務局を設置(各団体) ■ 彦根市健康推進課を移転(市) <p>施設の設置と運営：彦根市 事業の実施主体：1市3町・4町または彦根市</p>	<h3>彦根市保健・医療複合施設の使命</h3> <ul style="list-style-type: none"> ■ 休日急病診療所の充実により、1次救急の役割を強化し、2次救急病院との機能分化を進める。 ■ 在宅医療、療養の推進を図り、生活の質向上や限られた医療資源の有効活用を図る。 ■ 多職種が連携・協働して地域医療の推進を図る。 ■ 湖東地域において、広域的な観点に立った事業を展開する。 	<h3>在宅医療福祉の推進体制イメージ</h3>
---	---	--------------------------



ご自身の職員としての体験、ご家族の介護体験から...

介護保険制度のない時には、高齢者になったら施設に入るのがいいと思っていましたが、今では本人の希望どおり、長年住み慣れた自宅で最期を迎えられるほうがいいと思うようになりました。

治療に従えない患者は、病院のスタッフからみれば聞き分けのない患者でしようが、本人の立場に立てば、その行為は当然のこと。治療が済めば、一日も早く早く家に連れて帰ったほうがいい。

介護保険の手続きをし、入院中に自宅で入浴できるようにリハビリをしてもらい、住宅改造をした。

これからもっと介護保険事業所にお世話になる必要があります。かかりつけ医、訪問看護、いよいよの時にどう対応したらいいのか...このあとのお二人にバトンタッチをします。

話題提供その2 ～在宅看取りでのご家族の思い～

彦根市立病院訪問看護ステーション 柴田恵子さん
花かたばみの会 藤本加代子さん



（退院して一番最初に）先生が来られた時に、「会わせる人がいたら呼んでください」と言われたことが先生とのスタート。いきなり先生から、『そんなにお父さん時間ないよ』という感じで言われた時は正直ショックでしたが、告知をされたことで、家族が父が亡くなるという事を真摯に受け止めてお別れできました。

病院で見てもらうと、行った時間しか父との時間がないけど、家で一緒に過ごした中で、トイレの介助をしたその感覚がいまだに残っていますし、父が頑張ってくれているという証で、いろんなことができてよかったと思っています。

「お母さんトイレ行くから、ちょっと代わるからね」と言った時に、父が母の手を離さなかつたらしく、ぎゅ一つ握りしめて、そこで私と代わって、次の朝亡くなったんですけど。母としては、二人でその時にお別れができています。もうお父さんこれだけ頑張ったんやから、「おかあさん、お父さん楽になってもいいよね」というところまで来ていて、私たちとしては本当にいいお別れができたと思っています。

家に帰れたこと、先生から告知されたこと、、、、いい状態でお別れができました。

グループワーク

★講演を聞いた感想・もっと知りたいこと
★今、私たちの取り組んでいること など

- ・歯科訪問診療が広がるという
支援者の何気ない一言、そんなつもりがない言葉でも、家族や患者を傷つけることがある。
- ・介護保険や在宅医療に関する制度の周知が必要。まだまだ、介護保険・訪問看護等を知らない人もいるのではないかと。
- ・高齢者虐待にもつながる可能性がある。在宅でみるほうがいいのか、入院で安全確保が必要か、葛藤がある。
- ・支援者として在宅に不安があったが、家族の方に家で介護してよかったと思えるように支援ができるという。
- ・医療についての不安があったが、往診医にきてもらえて安心できた。
- ・入院中から家の状況に取れたリハビリができる。移行がスムーズにできる。
- ・在宅看取りについては、認知されてきてはいるが、まだまだアナウンスが必要
- ・患者・家族の満足感を得ていただくには、支援者のチームワークが必要。
- ・100%の努力では、息切れしてしまうので、70%の力で家で生活できる環境づくりが大切。
- ・患者さん・ご家族のQOLをあげることが重要。



以前にも話題になりましたが、ご家族やご本人の思いを何度も聞いて、確認しながら、看取っていただいておられる…
そんな丁寧な関わりを、ここでも知ることができました。

- ・複合施設を有効に活用していないといけないと思う。この施設は、市民さんが直接利用するというより、支援者が使用する施設であるので、この会を活用するなどして市民へとつなぐ役目がある。
- ・多職種連携大切だが、工夫が必要。パンフレット+αの情報ももらえるという。
- ・看取り出前講座は、看取られた家族の生の声が聞けてよかった。
- ・介護者をどう支えるか、社会資源を支援者が熟知すること大切→複合施設を活用できる!

- ・在宅では、本人・家族が安心して地域に住める。満足度をあげることも重要。
- ・家族が看取りに積極的でない場合もある。困難なケースも取ってみたい。
- ・在宅サービスが十分に知られていない。家族への情報提供が必要。
- ・小規模多機能事業所:家族でみるのが難しいので、施設でと言われることがある。在宅のサービスの使い方が知られていないのが現状としてある。
- ・在宅支援では、それぞれの専門職のスキルを上げることが重要。
- ・それぞれの職種がお互いのスキルを上げることができるという。
- ・複合施設は活用することが大切だが、イメージにくい。期待とともに不安もある。各団体でどのように活用されているのか、勉強会などで共有していく必要がある。
- ・ケアマネの立場でいうと、複合施設でワンストップ相談ができるという。
- ・訪問歯科診療の依頼少ない。もう少しあってほしい。口腔ケア毎日十分にできているのか、優先順位として低くなりがちであるが、しっかりケアマネシフトに入れてほしい。
- ・在宅看取り:痛みのエピソード等バックアップ体制が重要。状況の変化を察知できる介護者がいないと難しい。看取る家族がいるから看取れる。医療従事者の高いケースの看取り難しい。家族の理解も必要。
- ・家族が看取ってよかったと思えることが大切。



自己紹介タイム



グループでの話し合いの内容発表の時に、テーブルごとに所属とお名前を言っていただきました。



今回は、歯科医師、薬剤師、リハビリの先生方、また、まちづくりで大きな力を発揮して下さる社会福祉協議会の方など、はじめての方のご参加がたくさんありました。違う職種の方のお仕事は、知っているようで知らない.....だからこそ、このような会で話し合うことが大事なのだなあ.....と改めて感じました。



定例は、..

開催日: 奇数月の原則第2火曜日(変更あり)

18:30~20:30(時間厳守)

次回は... **1月23日(木) 変更になっています!** 18:30~20:30

テーマ: 仮)薬にまつわる話

会場: 彦根市保健・医療複合施設(くすのきセンター)

担当団体: 彦根薬剤師会

※申込み不要、当日会場へお越しください

連絡先: ことう地域チームケア研究会事務局(湖東健康福祉事務所)

TEL: 0749-22-1770

こんなこと、思いました！

話題提供に関して、

「参考になった点」「もう少し聞いてみたい点」「報告したい点」など

- ・ 病院での退院調整の実態
- ・ 薬剤師、社協の職員等、普段は関わりの少ない方の話もきけて参考になった。社会資源を知るという事は中身を知る事だと感じました。【福祉関係者】
- ・ 患者情報の共有について。(病院-病院 他職種間)
- ・ 医療複合施設の完成が楽しみです。名実ともにチームケアができるようになると良いです。訪問歯科についてもっと知りたいです。【福祉関係者】
- ・ 初めての参加です。これから多職種の方々より深く交流できればいいと思って参加させていただきます。よろしくお願いします。【医療関係者】
- ・ 西山さんや藤本さんの実際のお話を聞かせて頂き、家族さんはこんな思いでいらっしゃるのかと改めて実感しました。MSWとしてどう支援していけばよいのか考えさせられました。【医療関係者】
- ・ 地域福祉に関わる中で、普段関わる事のない専門的な方々と話が出来、参考になりました。【福祉関係者】
- ・ 医療関係以外の今回のような当事者の意見も聞きたい。【行政その他】
- ・ 当事者のお話は大変心に響きました。(初めての参加もあたたかく受入れていただき、ありがとうございました。【福祉関係者】)
- ・ 色々な話が聞けて良かったです。
- ・ いろんな職場、いろんな職種の裏話や最新の情報がきけて良かった。
- ・ 住民さんにいかに在宅ケア、サービスの情報が届いていないかの実態がわかりました。地域医療支援センターは我々が有効活用し、住民さんに返していかなければならないということ再認識しました！在宅での看取り-家族をチームで支援していくことが必要だと
- ・ 在宅看取りに対する理解、可能なことはまだまだ知らない人が多いと思うため、できること、まずは伝える側の学習が必要であると思いました。現状についてあまり知らないことが多く、少しは難しかったです。今後も参加できる限り参加したいです。【福祉関係者】
- ・ 直接、在宅看取りについて話をきく機会が少ないのでよかった。
- ・ 多職種の方の思いや意見が聞けて良かったです。【福祉関係者】
- ・ いろんな職種の方のお話が聞けること
- ・ 利用者さま、家族の方がもっと気軽に在宅で看取りができるようにしていきたい。【医療関係者】
- ・ 心に残る話を聞けました、ありがとうございます。グループ内で話合った意見の中で参考になるヒントをたくさんいただけて良かったです。【福祉関係者】
- ・ 家族の心情、気持ちに寄り添う支援ができるよう日々努力していかないといけないと思いました。【福祉関係者】
- ・ 介護のことを広めるような話題をしてみたい。【医療関係者】
- ・ 色々な職種の方がおられてある意味珍しい会と思う。良い機会を与えてもらいました。
- ・ 地域医療支援センターの湖東地域リハビリ推進センターの今後の方向性について
- ・ 多方向からの意見が聞けて大変参考になりました。【医療関係者】
- ・ 看取りの家族の声が生で聞けた【医療関係者】
- ・ 家族の思い、声を直接聞けた事から病院のケアのあり方を見直してもらうきっかけになったのではないだろうか。でも病院職員がその声に気がつかなければ何を聞いても変わらないのかなー。
- ・ この様な現場に一般の者ではなかなか立会えないですが、知る機会を与えて頂きありがとうございました。【行政その他】
- ・ 患者のQOLをあげる為にはその家のあったリハビリが必要。在宅関係者のチームワークが必要、患者さんが介護者(ご家族)のQOLをあげる、参考になりました【医療関係者】



今後、研究会で聞きたい内容やテーマをお聞かせください

- ・ 連携して上手くいったケースの報告
- ・ 医師会(この地域)の在宅医療の取組や課題
- ・ 各専門職の役割や共有したいことを知りたい。 【行政その他】
- ・ それぞれの場合とかケースで検討。 【行政その他】
- ・ 看取りの連携について 【福祉関係者】
- ・ 皆でお茶会しながらフリートークもいいのでは 発表ではなく共有の方法も考えて
- ・ 在宅看取りの必要性などの講演、住民啓発するため地域の民生委員に参加してもらおう!
- ・ 訪問歯科をしておられる病院の一覧表ができればありがたい 【福祉関係者】
- ・ 終末期における身体的変化について 【福祉関係者】
- ・ 事例報告があると良いと思います。 【医療関係者】
- ・ 多職種連携の実例 【医療関係者】
- ・ 皆様の立場での取り組みやまた、体験者からの声を繁榮して実りある多職多様研究会になる事を希望します。 【行政その他】



ことう地域チームケア研究会では、研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、事務局(湖東健康福祉事務所)まで、

- ① **メールアドレス**
 - ② **ご所属**
 - ③ **お名前** を、お知らせください。
- FAX 0749-26-7540**

